

～使命の継続～

2017年12月10日発行 12月号 No. 274

◇『私の思い』

副本部長・物流政策副委員長 下川 悟

〔中央支部 (株)プライム物流〕



私は、ロジ研 物流政策副委員長を仰せつかっております、株式会社プライム物流 下川 悟と申します。

日頃より、ロジ研会員及び「ひびき」をご愛読いただいている方々には、大変お世話になっております。

さて、私は今の運送事業について、何故人が集まらないのか、何故法令を守ろうとすると事業継続が難しいのかと、常々思いを感じています。

まず、労働力の確保については、収入面、労働面で魅力がなくなった業種になったと思っています。私が運送事業に入ったきっかけは、時間は長いが高収入だったからですが、現在は、時間は長いが入力は半分以下なので、同等の収入を得るなら、所定時間内で終わる業種がいいなと思う人が多いのではないのでしょうか。この様な状況を変えるためには、何をどの様にすればいいのかと日々考えています。いつの世も他力本願では何も変わりませんので、自分が努力と決断をして、良い方向に導かなければならないと思っています。そんな現状でも事業継続をしなくては、従業員及びその家族を守る事は出来ないのです、頑張るしかないと言いつつ聞いています。

皆さんはどの様に考えていますか。こんな時だからこそ、本年11月に運送約款の一部改正があり、このチャンスを生かすか殺すかは、各事業者の経営者の皆様です。愚痴を言い、諦めるのでは無く、行動を起こして欲しいと思います。

次に、労働面ですが、世の中何でも便利に成り過ぎて、その便利さを作る為に、物流は欠かせないポジションだと思います。世の中が便利になればなるほど物流の行動時間がタイトになり、その負担が運送事業者と乗務員にのしかかって来る仕組みになっている事が、労働環境が良ならず厳しい環境が続くのだと思います。我々が従業員・乗務員の労働環境を良くする為には、まず収入(運賃・作業料金)の見直しを訴え、交渉をして行かなくてはなりません。収入が増えれば人員を増やし、今まで1人で行っていた作業も2人で行えるかもしれません。そして労働時間短縮に繋がると思います。

上記2点(収入面・労働面)を変えるには、何をどうすればいいのか。私の個人的な意見ですが、全ての運送は基本的にはサービス業だと考えています。お金を貰うという行為は、相手の手間を省き、対価としてお金を貰う事だと思います。では、我々は何ができるのかです。お客様は、自分達の計画通りに商品を流し、利益を生み出す事を目的として、物流業者・運送事業者に発注します。その中に、指定時間・指定車両・その他色々な指示が有り、我々はそれを当たり前前にこなす事が最大のサービスだと思っています。当たり前前に仕事をこなす為には、発注された仕事についての情報収集は当然ですが、大切な事は、此方からの情報発信だと考えます。仕事の途中経過や完了報告など色々あると思います。お客様の手間をいかに省けるかが、自分の会社の品質・信用に繋がると考えます。

最後に、今回の「ひびき」の投稿は私の個人的な意見ですが、少しでも皆様のヒントに成れば幸いです。

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 12/18(月) 16:00～ 三組織連絡会・忘年会
- 2/8(木) 16:00～ 三組織合同セミナー・新年会(京王プラザホテル)
- 2/9～14 (金～水) 海外研修(カボジ)

◇『蕎麦屋談義』



ロジ研の会合が終わると裏の蕎麦屋で一杯となる。帰社するには中途半端な時間と言いつつ繁華街へ出るにはまだ早いのが本音・・・らしい(笑)。

この日も蕎麦屋でのくんだり。酒も進んで話題は約款改正の今後となったのだが・・・「これを機に少しでも運賃が上がってくればねえ」

「交渉に成功したとしても下をくぐって仕事を取りに来る莫迦な業者がいるからなあ」などと話題と共に酒のピッチも上がってくる。要は人手不足も絡んで今回は《絶好のチャンス》となるはずだが、実行に移した途端にモラルも何もなく、新規参入を含めたライバルに付け込まれるというのが大半の意見。

「人手不足と労働時間問題を値上げ理由の好機と捉えずに、目先で動く輩が多いのが我々業界の悪癖だ」と誰かが言う。自称若手?の社長が「そういう業者に限って、人手不足だから規制を緩和して外国人を雇えるようにしろ、運賃が安いから仕方がない、グローバル社会に矛盾している等と屁理屈を言うのですよ」「適正な運賃をもらって従業員さんに還元してベースアップをしなければ、ドライバー不足は解消しない。よく言う業界の地位向上など無理な話なのです」と、いたって正論だがヒートアップで矢鱈と声がかくなる(笑)。

そこへ古参の社長が「業界の地位向上って言うけどさあ、この間のベスト・ドラゴンの発表会に行ったか? 児童絵画のコンテストが盛り上がったのは良いのだが、保護者と児童が帰った後、ドラゴン表彰になると業界関係者の数が閑散としていたのはどういう事?」そこに事情通の社長曰く「こと本部行事の動員となると、多くの支部の事務局がやらされ感満載で動かないのよねえ」「なかには交通費が出ないから動員は難しいって答えてきた支部もあるっていうからなあ、本末転倒だよ」原因の多くは支部長より経歴の古いマイナス思考の事務長や職員さんがいるからか、本部行事の意味合いが歪んで伝わる場合が多いのと、名誉欲のみで支部運営がおろそかな支部長さんもあるらしく、業界アピールの動員が儘ならない支部もあるとの事。

「いくらロジ研出身の支部長が増えたとしても支部事務局がそれじゃなあ」「千円貰えねえから本部行事に行けねえってか(笑)」・・・「おいおい、お前の処の支部じゃねえだろうなあ」「莫迦野郎、くだらないこと言ってるねえで、次行くぞ」ロジ研諸兄は酒が入ると口が悪いのが玉に瑕だ・・・

<by ロジ裏 研乃介>

◇『平成29年度 ロジ研忘年会』

12月6日(水) 浅草吾妻橋「船宿あみ清」の屋形船にて、平成29年度ロジ研忘年会を36名参加のもと行いました。



乾杯の様子



中締めの様子